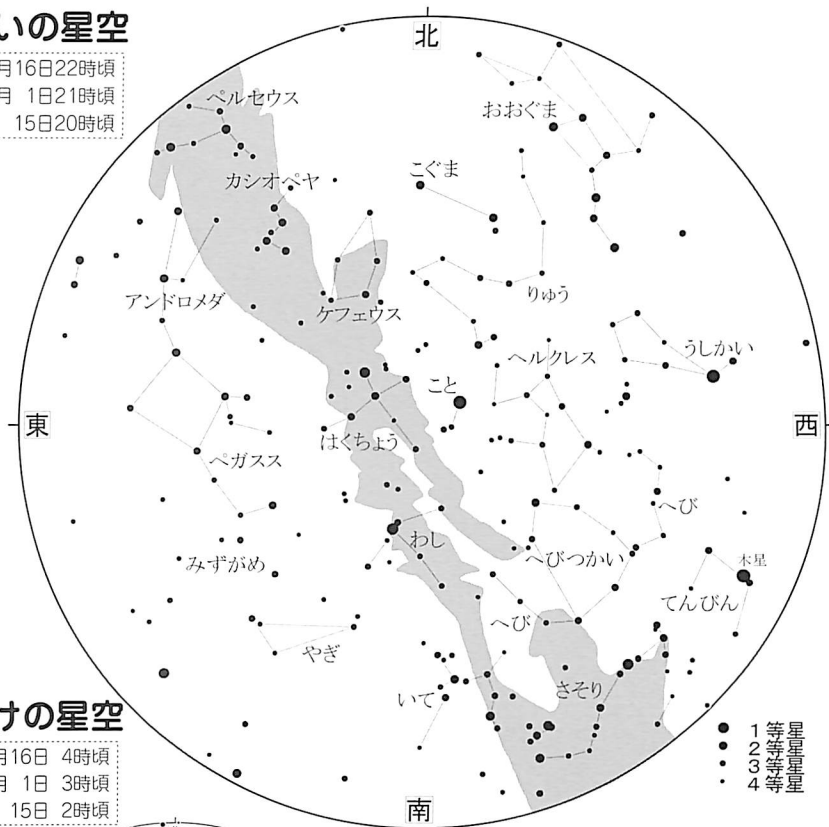


★星空ガイド 8月16日～9月15日

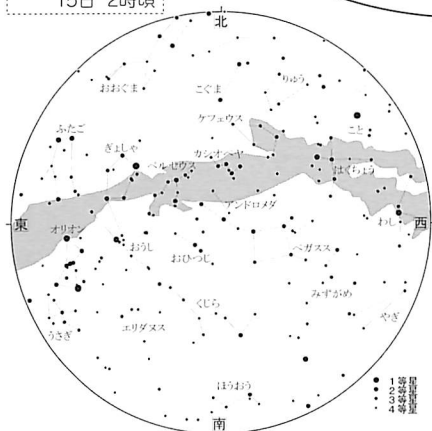
よいの星空

8月16日22時頃
9月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

8月16日 4時頃
9月 1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
8	16	水	5:18	18:45	22:52	12:49	21.9
	21	月	5:22	18:39	2:29	17:27	26.9
	26	土	5:26	18:33	7:23	19:40	2.3
9	1	金	5:30	18:25	13:18	22:45	8.3
	6	水	5:34	18:18	17:32	3:11	13.3
	11	月	5:37	18:11	20:11	9:22	18.3
	15	金	5:40	18:05	23:22	13:53	22.3

惑星は9月15日の位置です。

<部分月食>

中秋の名月の1ヶ月前の満月である9月8日、部分月食が起こります。月食とは月が地球の影に隠されて、その一部または全部が欠けて見える現象のことです。今回の月食は、月の一部分だけが地球の影に隠れる部分月食です。

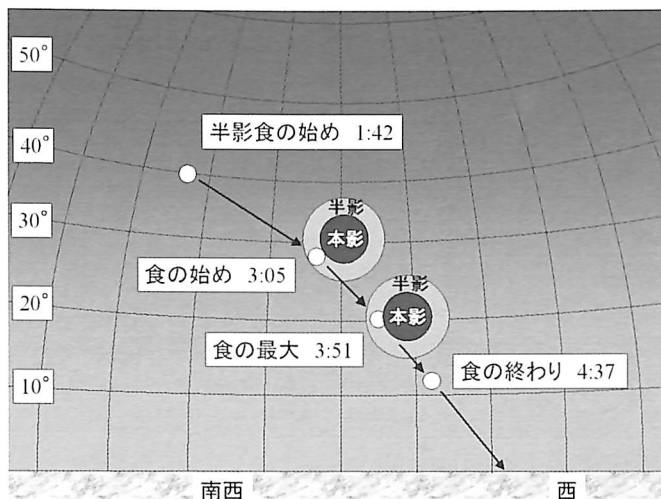
月食が見られる

時刻は全国どこでも同じですが、場所によって見える方位と高度が異なります。図に大阪で見える月食の様子を示しました。地球の影には真っ暗な本影と、太陽光の一部を地球がさえぎっている状態である半影があります。1時42分に半影食が始まり、月がほんの少し暗くなりますが、肉眼ではほとんど分かりません。月が欠け始めるのは3時5分、食の最大が3時51分、欠け終わりが4時37分です。明け方ですので、早起きして見る必要があります。

最大の食分は0.189、つまり月の直径うちの約2割が地球の影に入る程度で、欠け具合はあまり大きくありません。満月に向かって見ると、右上の部分が少し欠けるのを見ることができます。

なお次に大阪で見ることのできる月食は、2007年8月28日の皆既月食になります。

(江越航：科学館学芸員)



大阪で見える月食の様子

【こよみと天文現象】

月	日	曜	主な天文現象など
8	16	水	●下弦(11時)
	22	火	月と金星がならぶ
	23	水	処暑(太陽黄経150°)
	24	木	●新月(4時)
	26	土	月が最遠(10時、406269km)
	29	火	月と木星がならぶ
9	1	金	●上弦(8時)／二百十日 月とアンタレスがならぶ
	6	水	金星とレグルスがならぶ
	8	金	○満月(4時)／白露(太陽黄経165°)／月が最近(12時、357175km)／部分月食
	14	木	●下弦(20時)